

別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度～令和9年度	事業実施地区名 (都道府県名)	かみこうち 上高地 (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県松本市の西端部、上高地地域に位置し、急峻な地形と脆弱な地質構造に加え、山岳気象に起因する局地的豪雨や凍結・融解等により、斜面崩壊や急崖斜面の侵食が著しい。 令和6年6月の集中豪雨により、地盤が緩み倒木が発生するとともに表層の転石が落下し、直下の宿泊関連施設に被害を与えた。現在も、山腹斜面には多くの不安定な転石が点在しており、今後の降雨等により落下し、直下の保全対象に被害を及ぼすおそれがある。このため、落石対策工を実施し落石被害を防止する。			事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
主な事業内容		山腹工0.20ha			
主な保全対象		宿泊施設			
総事業費		200,000千円(税込み 220,000千円)			
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 上高地地区

事業実施区域

上高地

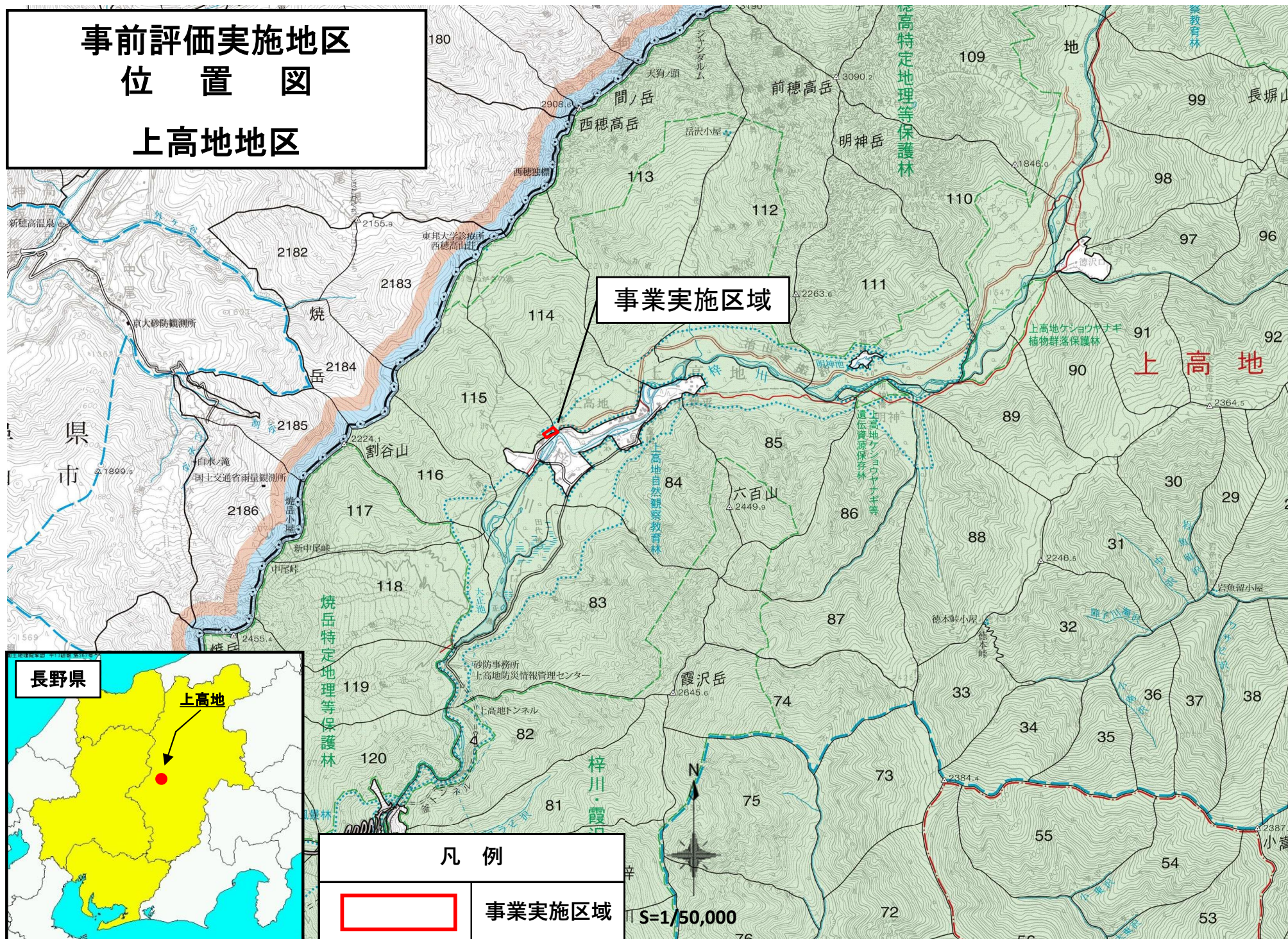
長野県

上高地

凡 例

事業実施区域

S=1/50,000

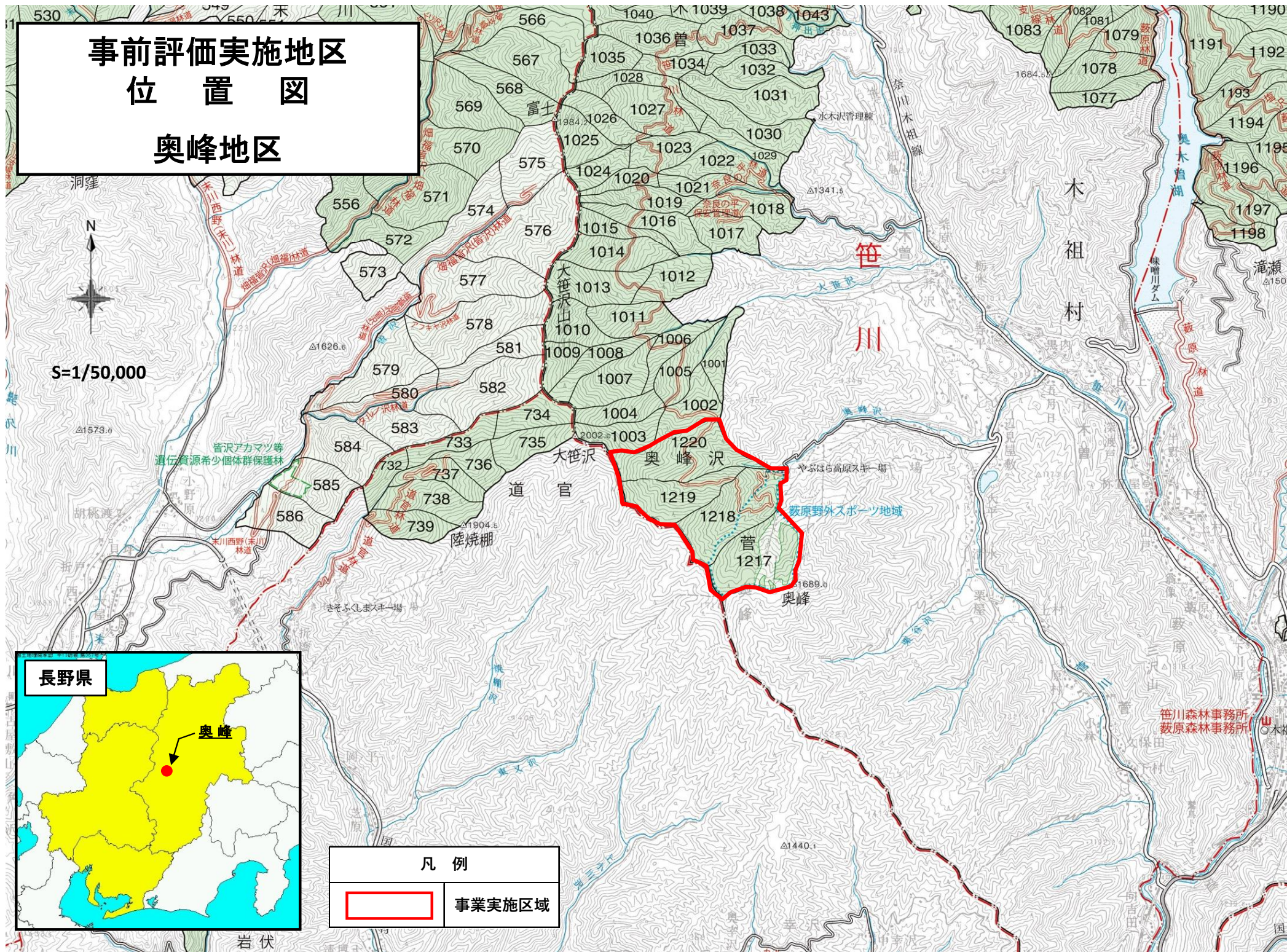


別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	おくみね 奥峰 (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県中西部の木曽川源流、木祖村の西南端に位置し、地区内には崩壊土砂流出危険地区である奥峰沢が東流している。また、「やぶはら高原スキー場」が隣接しており、スキー場関連施設や宿泊施設など多くの保全対象が存在している。 近年の集中豪雨により、山腹崩壊地の発生や溪岸の侵食、溪流内の不安定土砂の流出などが見られ、今後の豪雨により不安定土砂が流出するおそれがある。このため、治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。				事業実施主体	中部森林管理局 木曽森林管理署
主な事業内容		溪間工1基				
主な保全対象		人家、村道、林道、取水施設				
総事業費		54,545千円(税込み 60,000千円)				
位置図		別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
奥峰地区



長野県

奥峰

凡 例

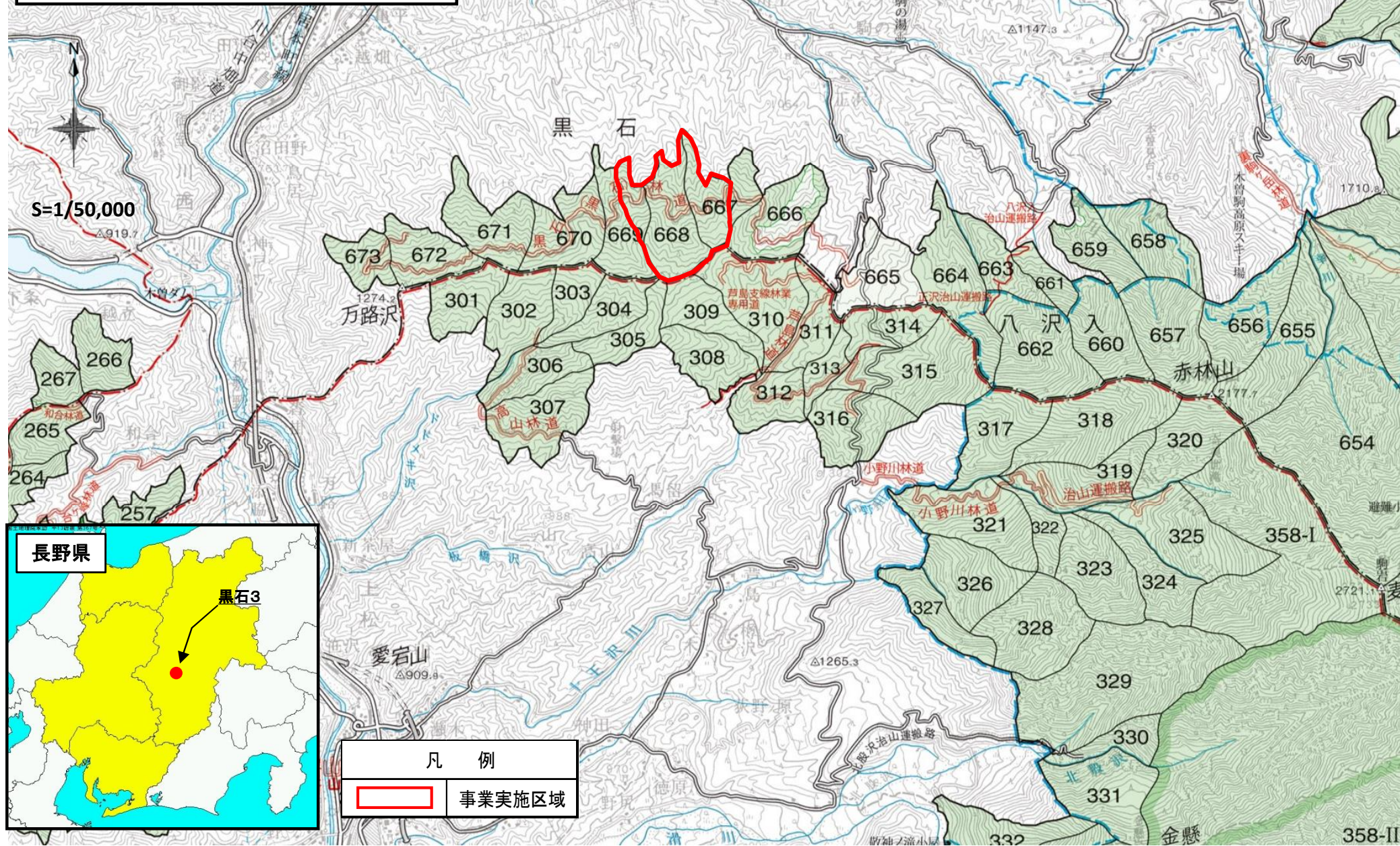
事業実施区域

別紙様式9

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	くろいし3 黒石3 (長野県)
事業目的	当該地区は、木曽駒ヶ岳から北西に連なる稜線を源に流下する黒石沢の支溪にあり、下流域には人家や町道等の重要な保全対象が存在する。 計画箇所は、転石主体の溪流であり、転石間の空隙が多く不安定な状態となっている。 また、崩壊土砂流出等による災害が発生するおそれがある山地災害危険地区となっており、集中豪雨等に起因する山地災害の発生が懸念される。 このため、治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。			事業実施主体	中部森林管理局 木曽森林管理署
主な事業内容		溪間工1基			
主な保全対象		人家、町道			
総事業費		63,636千円(税込み 70,000千円)			
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 黒石3地区

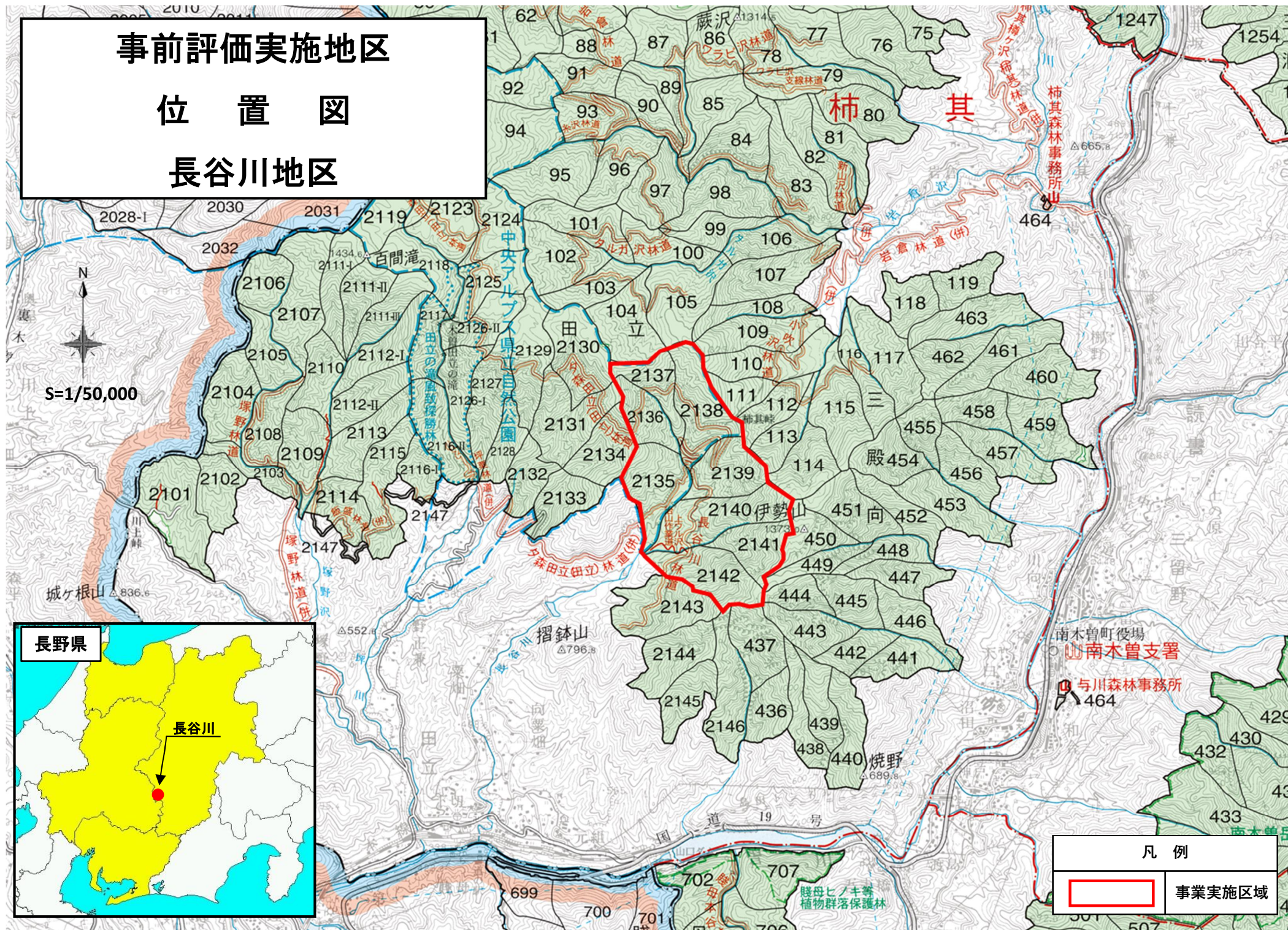


別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度～令和10年度	事業実施地区名 (都道府県名)	はせがわ 長谷川 (長 野 県)
事業目的	当該地区は、長野県木曽郡南木曽町の西部に位置し、深い谷と高い尾根地形を呈する急峻な山岳地形となっている。地質は苗木上松花崗岩が広く分布し、上松断層が存在するため侵食に弱く断層活動に伴う圧砕により脆弱である。 令和3年8月の豪雨により土石流が発生し、林道等の保全対象や既設治山施設に被害を与えた。溪流には依然として不安定土砂が堆積し、今後の豪雨による侵食拡大や土砂流出のおそれがあるため、溪間工により荒廃した溪流を復旧し、下流域の保全及び保安林機能の維持・向上を図る。				事業実施主体	中部森林管理局 木曽森林管理署 南木曽支署
主な事業内容		溪間工5基				
主な保全対象		町道、林道				
総事業費		193,250千円(税込み 212,575千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり					

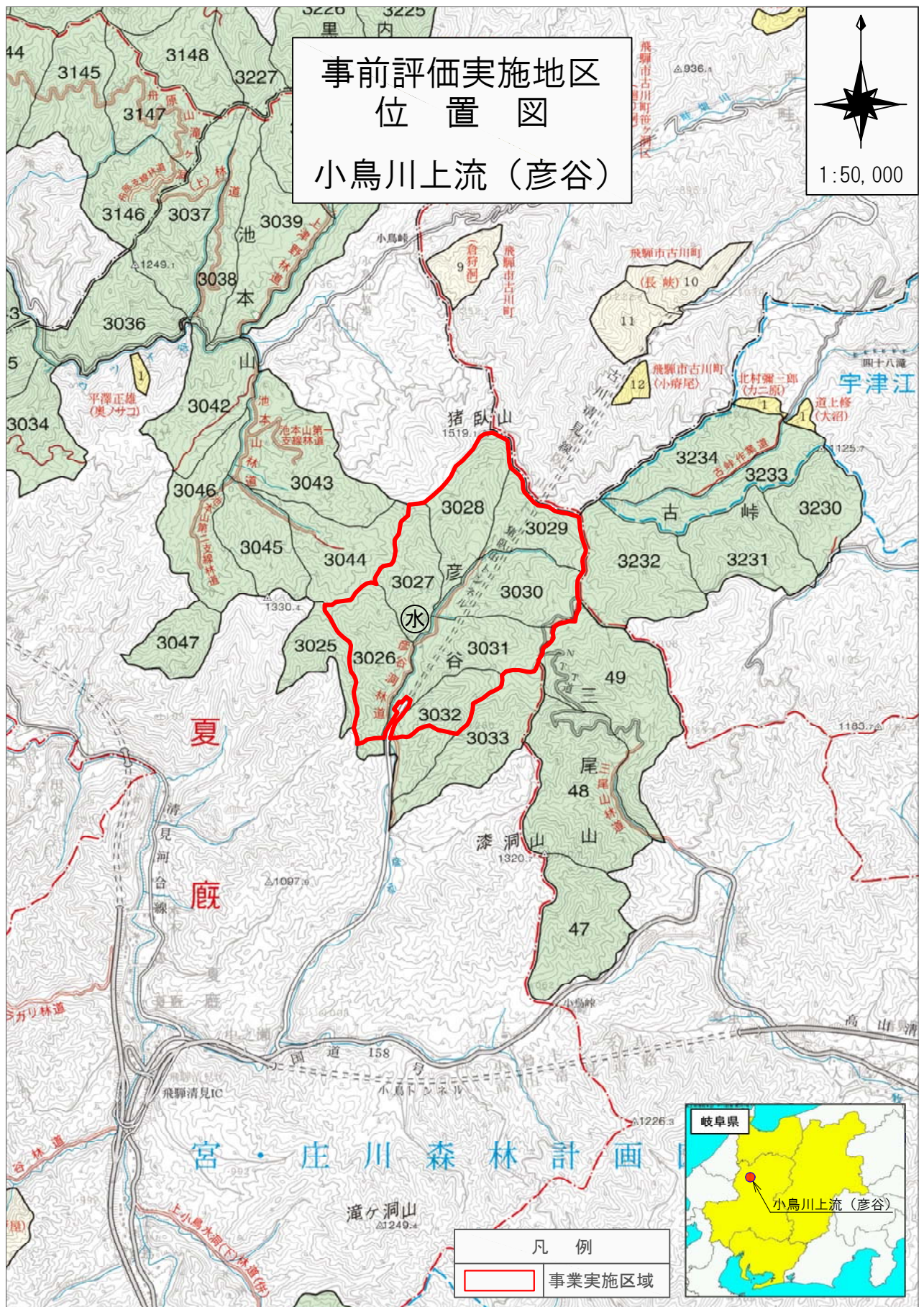
事前評価実施地区 位置図 長谷川地区



別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度～令和13年度	事業実施地区名 (都道府県名)	おどりがわじょうりゅう(ひこたに) 小鳥川上流(彦谷) (岐 阜 県)
事業目的	本地区は、岐阜県高山市清見町を流れる小鳥川の右岸、彦谷の最上流部に位置している。 地区内の溪流は、溪岸侵食等による荒廃地が発生しており、集中豪雨等に起因する荒廃拡大及び土砂流出の発生が懸念される。 下流域には、人家や県道等の重要な保全対象が存在することから、治山ダムの設置により、下流域への被害を未然に防止するとともに保安林機能の強化を図る。				事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
主な事業内容		溪間工6基				
主な保全対象		人家、県道、林道				
総事業費		132,205千円(税込み 145,426千円)				
位置図		別紙 位置図のとおり				



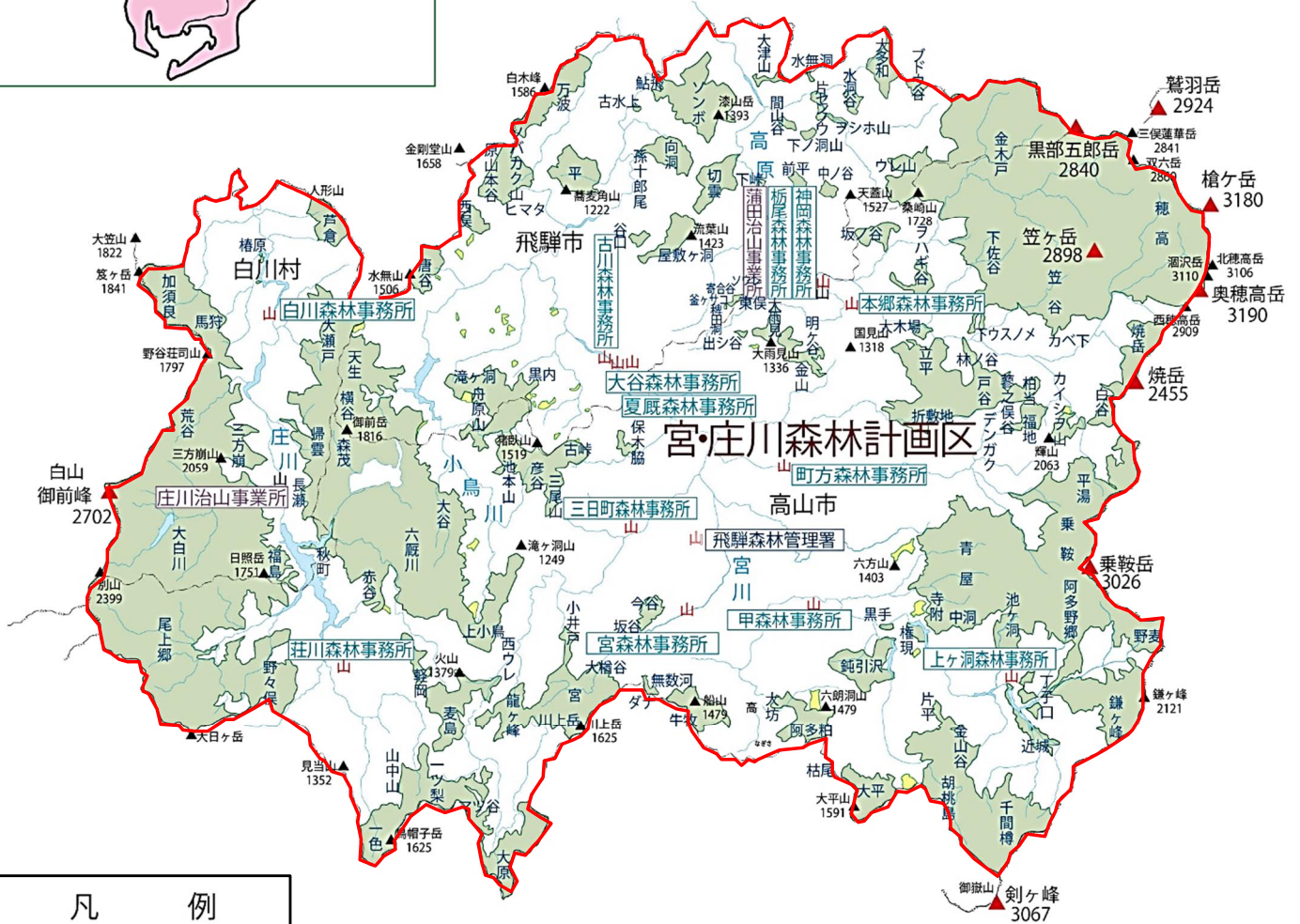
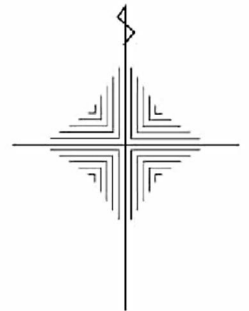
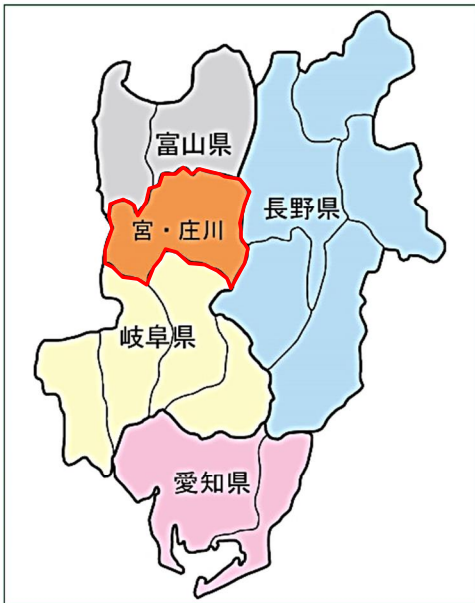
別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名	保安林総合改良整備事業	事業計画期間	令和7年度～令和11年度	事業実施地区名 (都道府県名)	みや・しょうがわ 宮・庄川 (岐 阜 県)
事業目的	当該地区は、岐阜県飛騨地方の北部に位置し、木材加工業をはじめ林業・林産業が地域の重要な産業となっている地域である。当該地区の国有林野は、北方に庄川流域の白山山系及び宮川・高原川流域の飛騨山系、南方は乗鞍・御嶽山麓からなる飛騨川の上流域である。主要河川の源流地域にあって、国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っており、水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されている。また、飛騨山系、白山山系等の山岳地帯は優れた景観を有しており、中部山岳国立公園、白山国立公園等の自然公園に指定されているとともに、御岳、飛騨白山白川郷自然休養林等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。 森林の現況は、国有林野全体面積のうち、人工林の割合は約3割となっており、主要樹種はカラマツ、ヒノキ、スギで、各々約3割の面積比となっている。林齢は、36～75年生が約9割と多くを占めている。これらの人工林は過密状態が進行しており、このまま放置すると表土の侵食による崩壊の発生や土砂、倒木の流出により、水土保持機能が著しく低下するおそれがある。 このため、水源涵養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持・増進を図ることを目的に本事業を実施する。			事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
主な事業内容	本数調整伐 528.05ha				
主な保全対象	—				
総事業費	133,289千円(税込み 146,618千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

宮・庄川 森林計画区



凡 例

- 国 有 林 野
- 官 行 造 林 地
- <○>-<○>- 県 界
- ...- 市 町 村 界
- 山 森 林 管 理 署
- 山 森 林 事 務 所
- 山 治 山 事 業 所
- 文字 森 林 計 画 区 名
- 文字 国 有 林 名

凡 例

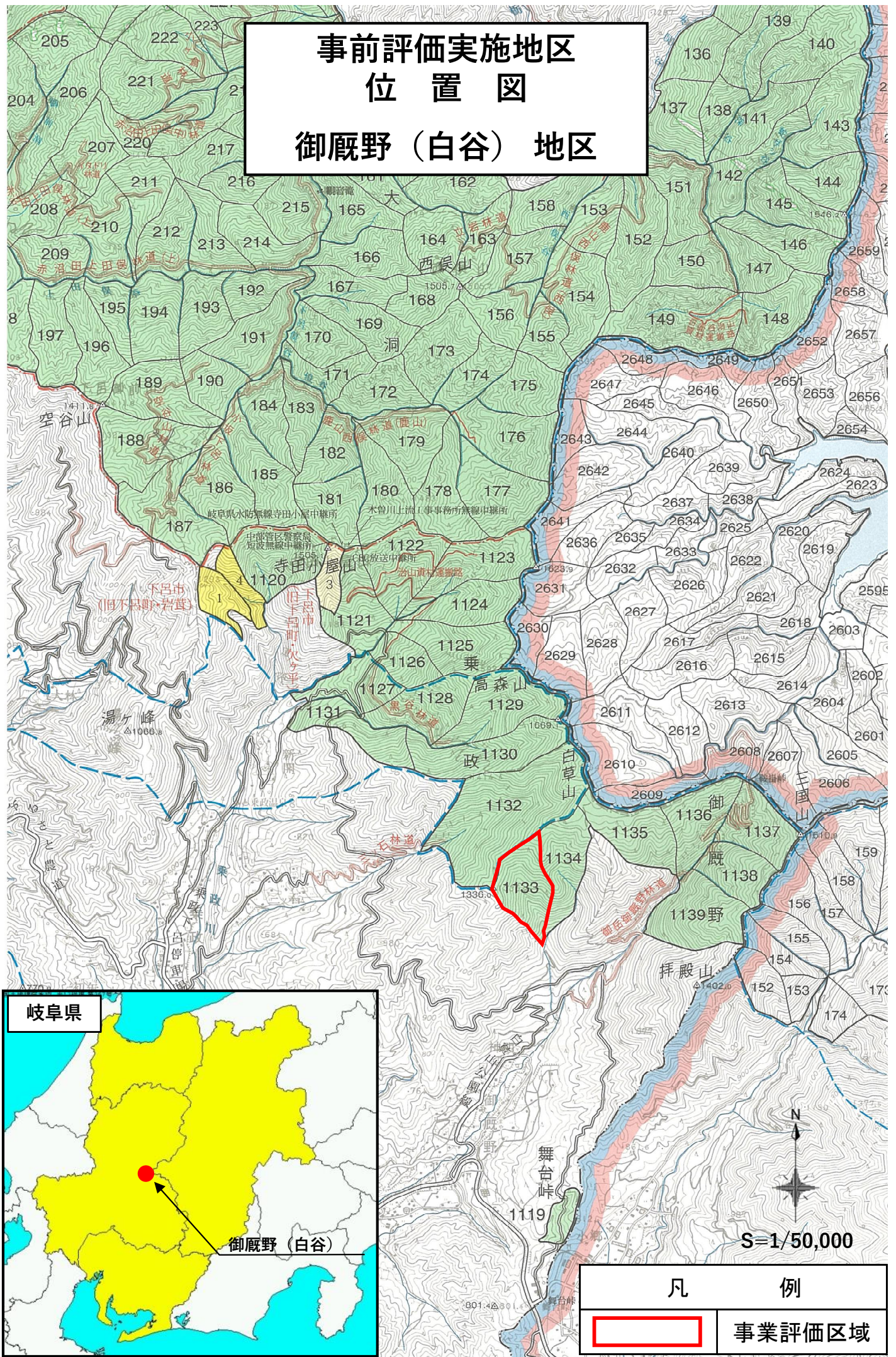
事業実施区域

別紙様式9

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	みまやの(しらたに) 御厩野(白谷) (岐阜県)
事業目的	当該地区は、岐阜県下呂市の南東部に位置しており、地質は流紋岩類で付近を通過する阿寺断層系に直交する断層の影響により脆弱である。溪流内には凍結融解作用や溪岸侵食等による不安定土砂が堆積しており、今後の台風や局地的豪雨により流出しやすい状況にある。 下流には広域基幹林道や市道等があり、豪雨を誘因とする土砂災害が懸念されることから、溪間工により不安定土砂の流出を抑止し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容		溪間工1基			
主な保全対象		広域基幹林道、市道等			
総事業費		57,273千円(税込み 63,000千円)			
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 御厩野（白谷）地区



凡 例



事業評価区域

別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名	予防治山事業	事業計画期間	令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひちそう(いわいだに) 七宗(岩井谷) (岐 阜 県)
事業目的	当該地区は、岐阜県加茂郡七宗町の北東部に位置している。地質は小褶曲を呈するチャートであり、風化・侵食等に伴い溪流に堆積した不安定土砂は、豪雨等により流出しやすい状況にある。 計画箇所の溪流は、崩壊土砂流出等による災害が発生するおそれがある山地災害危険地区となっており、集中豪雨等に起因する山地災害の発生が懸念される。 このため、溪間工により不安定土砂の流出を抑止し、下流域への被害を未然に防止するとともに、保安林機能の強化を図る。			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容		溪間工1基			
主な保全対象		町道			
総事業費		20,909千円(税込み 23,000千円)			
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
七宗（岩井谷）地区

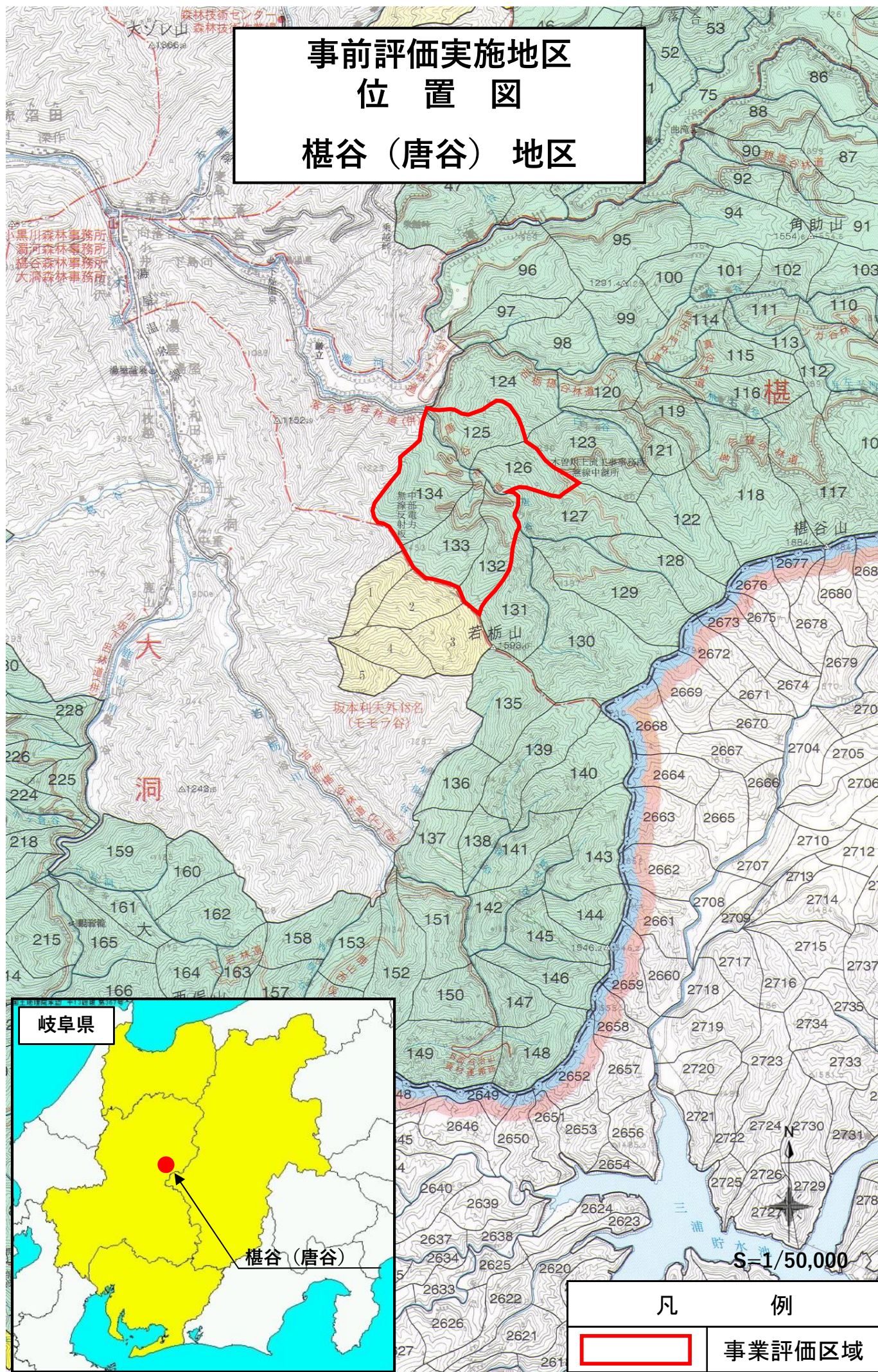


別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度～令和16年度	事業実施地区名 (都道府県名)	さわらだに(からたに) 榎谷(唐谷) (岐 阜 県)
事業目的	当該地区は、岐阜県北部の御嶽山の西麓に位置し、地形は急峻で降雨・雪崩等により荒廃が進行している。地質は流紋岩類で付近を通過する阿寺断層系に直交する断層の影響により脆弱である。 平成30年7月の豪雨では土石流が発生し、土砂及び流木の流下によって林道の損壊や橋梁の損傷など大きな被害が発生した。このため、災害工事により荒廃地の復旧を図ったところであるが、近年の集中豪雨により溪流等の荒廃が進み、不安定な土砂や流木が堆積している状況である。 下流には岐阜県指定天然記念物「巖立」を有する公園や発電所、林道等があり、豪雨を誘因とする土砂流出による被害が懸念される。このため、治山施設により不安定土砂の流出抑止や山腹崩壊地を復旧し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容		溪間工8基 山腹工0.08ha			
主な保全対象		公園施設、発電施設、林道			
総事業費		409,091千円(税込み450,000千円)			
位置図		別紙 位置図のとおり			

事前評価実施地区 位置図 榎谷（唐谷）地区

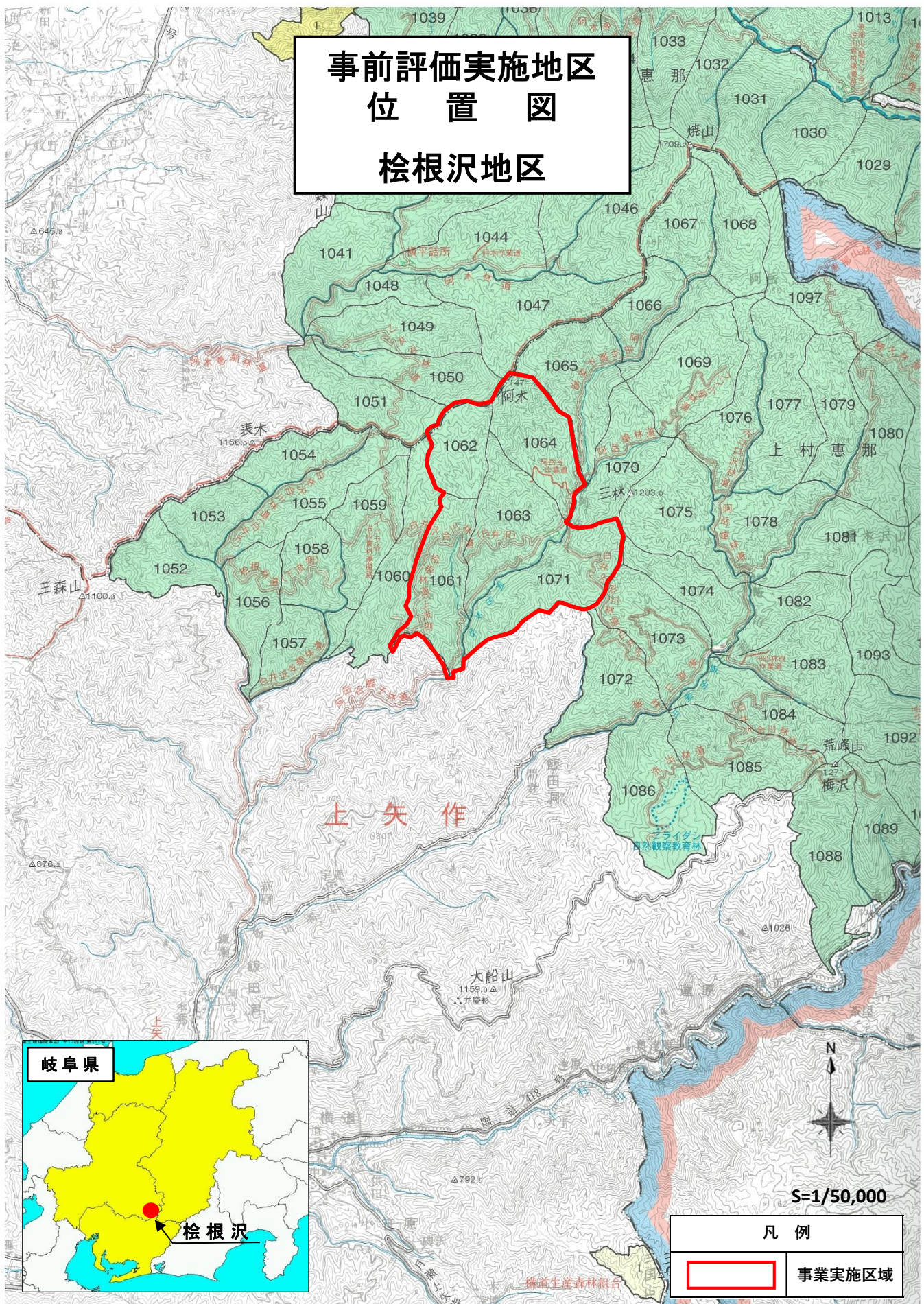


別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度～令和16年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひのきねさわ 桧根沢 (岐阜県)
事業目的	当該地区は、岐阜県恵那市に所在する木曾山脈南部の美濃高地に属し、阿岳、焼山、三森山等が連なる分水嶺の南側斜面の矢作川最上流部に位置している。地質は伊奈川花崗岩で覆われているが、断層破碎及び凍結・融解作用の影響によって節理の発達や深層風化（マサ土化）が進行しており脆弱である。 令和2年7月、令和3年8月の集中豪雨では、新生崩壊の発生や溪流荒廃が進行し、溪流内の随所に不安定土砂や流木が堆積した。今後の集中豪雨に起因する土石流により、下流の保全対象に被害を与えることが懸念されることから、治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。				事業実施主体	中部森林管理局 東濃森林管理署
主な事業内容		溪間工8基、山腹工0.77ha				
主な保全対象		市道、林道				
総事業費		429,780千円（税込み 472,758千円）				
位置図		別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
桧根沢地区



別紙様式9

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山事業	事業計画期間	令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	いわむら(そとしみずさわ) 岩村(外清水沢) (岐阜県)
事業目的	当該地区は、岐阜県恵那市の焼山、三森山等が連なる分水嶺の北側斜面に所在し、木曾川より分岐した阿木川の支流である岩村川の源流域に位置している。地質は伊奈川花崗岩で覆われているが、断層破碎及び凍結・融解作用によって節理の発達や深層風化（マサ土化）が進行しており脆弱である。 令和5年6月の集中豪雨により、溪流内の堆積土砂等が流出し恵那市が管理する水道施設が閉塞した。このため、水道施設に堆積した流木・土砂等の除去を実施したが、現在も上流域には土砂等が不安定な状態で堆積している。今後の集中豪雨に起因する土石流により、下流の保全対象に被害を与えることが懸念されることから、不安定土砂の流出を抑止するための治山施設を整備し、下流域の保全及び保安林機能の強化を図る。				事業実施地区名 (都道府県名)	いわむら(そとしみずさわ) 岩村(外清水沢) (岐阜県)
					事業実施主体	中部森林管理局 東濃森林管理署
主な事業内容		溪間工 1 基				
主な保全対象		国道、市道、水道施設				
総事業費		26,364千円 (税込み 29,000千円)				
位置図		別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
岩村(外清水沢)地区

